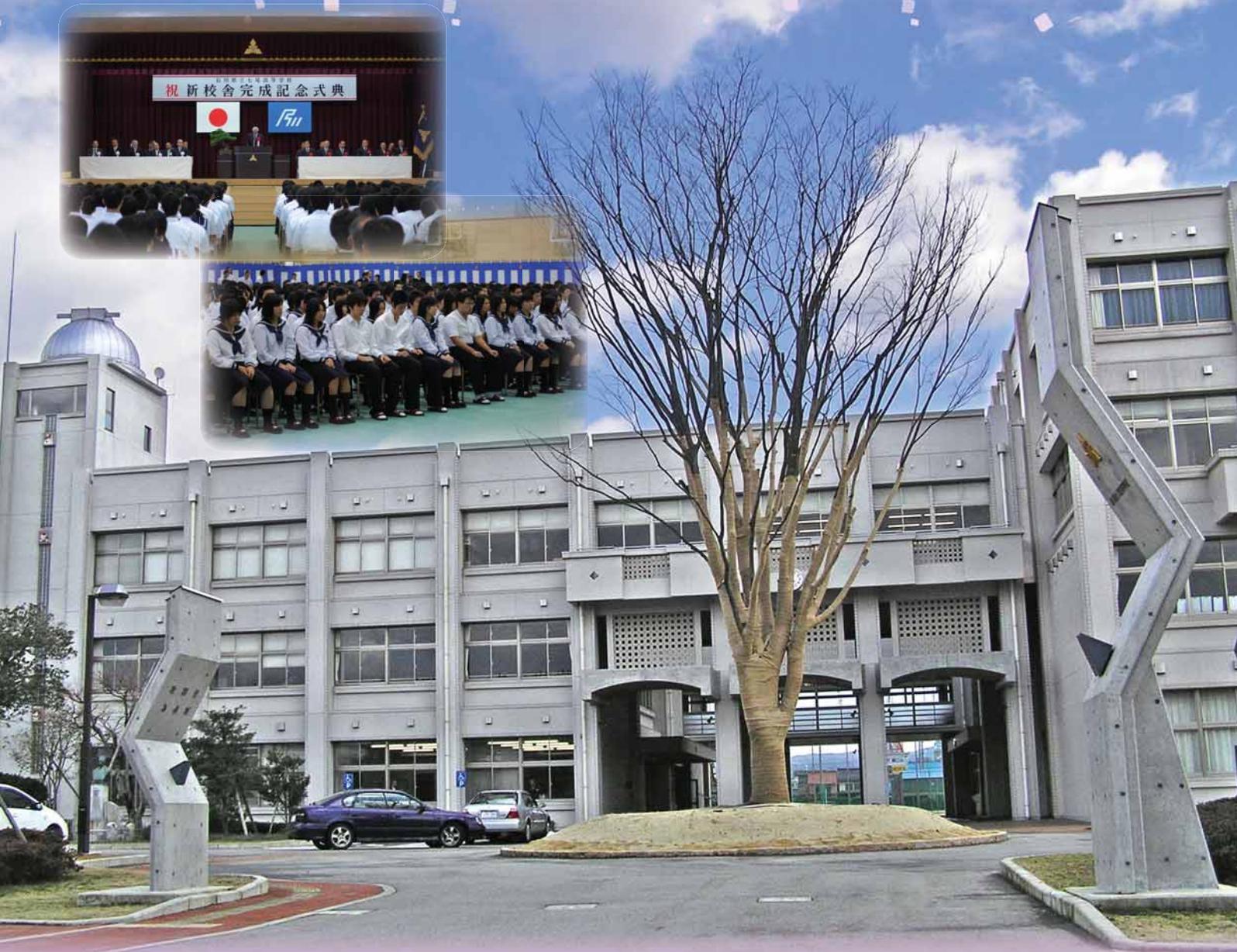


七高同窓会だより

第30号



七尾高校創立110周年記念事業

1、記念式典・記念講演

平成21年9月19日(土) 10時
七尾高校第1体育館

2、総会・記念祝賀会

平成21年9月20日(日) 11時 (祝賀会は12時30分から)
和倉温泉「あえの風」

3、記念美術展(兼)第15回七高同窓美術会展

平成21年9月19日(土)～23日(祝)

■目次

ご挨拶	2
記念事業概要報告	3
創立110周年記念・恩師歓談 あの日、あの時	4
同窓生の誉れ	6
支部活動状況	7
本部活動状況	13
期別同窓会情報	14
母校は今	22
創立110周年記念刊行物案内・お知らせ	24



ご挨拶

同窓の皆様には、その後もご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今期、私は同窓会の裾野を広げ、輪を大きくして、同窓会の活性化を図ることを目指しました。その方針の下に、昨年4月から本年3月までに、各地の皆様のご協力を得て、中能登町、志賀町、輪島市、穴水町、能登町・珠洲市に支部を結成することが出来ました。私は本部同窓会は能登地区の支部の連合体とする体制になれば、同窓会の活性化と更なる発展に繋がると思っています。また、同窓会活動の基となる会員名簿につきましては、今まで業者に全て委託していましたが、今回は同窓会事務局で名簿の管理と編集を行い、新企画を



ご挨拶

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より母校の教育振興に物心両面のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。平成15年の着工から3期5カ年を要した校舎改築事業も平成20年7月のグラウンド整備を以て完了し、21世紀の社会が求める教育活動を行うに相応しい施設・設備が整いました。昨秋10月には新校舎完成記念式典が盛大に挙行されました。完成に至るまで皆様には並々ならぬご尽力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。平成20年度、学業では東大・京大を始めとする旧帝大に14名、金沢大学に40名、国立大学に合計142名が合格し生徒の「志」が結実しました。部活動でも、県高校総体で男子バスケットボール部が22年ぶり8度目の優勝を果たし、男女総合で県内第4位の好成績を残しました。新校舎で七高生の「学び」への意欲

同窓会長 佐原 吉博

盛り込んだ平成20年度版を発行しました。さて、平成15年11月4日に起工式が行われた母校校舎改築は、昨年7月で完了し、昨年10月5日(日)、新築された七尾高等学校第一体育館に於いて、新校舎完成記念式典が挙行されました。そして、今年には創立110周年を迎えます。本年9月19日(土)の創立110周年記念式典と翌20日(日)の創立110周年記念祝賀会が、全国各地から多数の同窓生の参加の下に盛大に開催されるよう期待しています。最後になりましたが、母校の更なる発展と同窓の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

校長 八十田 至

は益々高まり、文武両面で新しい歴史が刻まれております。本年、七尾高校は創立110周年という節目の年を迎えます。今日、県内多数の伝統ある進学校としてあるのは、卒業生の皆様が校訓「至誠・剛健・敢為」の理念を実践され、文武両道・自主自律の校風を築き上げてこられた賜物です。各地で、本校を卒業された25,000名余の同窓生の皆様が各界で活躍されておられることは、私どもの誇りと誇るところです。私たちは110年の歴史を回顧し、創立以来の伝統を確実に継承するとともに、情報化・グローバル化が進む新時代の要請に応え、変化に柔軟に対応し、新時代を創造する人材の育成に一層傾注していく所存です。会員の皆様のご多幸と更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



記念事業概要報告

創立110周年記念事業 実行委員長 大林 重治

去る3月15日(日)に、本校で開催された同窓会理事・評議員会に於て満場一致でご承認頂いた記念事業概要についてご報告いたします。

- 10年後を見据えた未来志向の事業展開
 - (1) 七尾高校の目指す方向性
 - ・文武両道
 - ・能登の最高学府
 - ・地域連携
 - 具体的な提言
 - ① 学生寮の設置
 - ② 同窓会の役割強化
 - ③ 学校施設の利活用
 - ④ 森づくりによる教育環境の向上等
 - (2) 「近十年誌(仮称)等の製作
 - ・120年委員会と生徒会役員との座談会
 - (未来の七尾高校像等)
- 記念式典、記念祝賀会等(会場 本校第一体育館)
 - (1) 記念式典
 - ・日時 9月19日(土)
 - 10時～11時
 - (2) 記念講演
 - ・日時 〃
 - 11時20分～12時20分
 - (講師等については現在交渉中)
 - (3) 記念祝賀会等
 - ・本部同窓会総会
 - ・日時 9月20日(日)
 - 11時～12時
 - ・記念祝賀会
 - ・日時 〃
 - 12時30分～
 - (4) 第15回七高同窓美術会展
 - 会場 和倉温泉「あえの風」
 - 会費 7,000円
 - 会期 9月18日(金)～23日(水)
 - 会場 フォーラム七尾



- ネットワークの強化(同窓会会員間)
 - (1) ホームページの開設(最新情報の提供)
 - (2) 会員名簿の作成
 - (3) 外部委託から独自製作に変更
 - (4) 登録会員情報の利活用検討
 - (5) 個人情報保護法の制約内
 - 記念寄付
 - (1) 記念植樹(校舎前庭のケヤキ)
 - (2) トレーニングマシン購入
 - (3) 舵手付クウオドルブル購入
 - (4) 楽器類購入
 - (5) DVDの作成
- 総額約12,600千円
- 昨年10月の新校舎落成式、また先頃行なわれた卒業式に続く入学式での厳粛の中に心に響く、素晴らしい式典は、現在の母校の姿を写し出しているものであり、同窓生の一人として誇りにすら思った次第であります。後輩の諸君が、立派な教育環境の中で勉学に、そして部活動に励まれるよう、同窓会諸君の心からお願い申し上げます。

作品募集

創立110周年記念

第15回七尾高校同窓美術会展に参加しよう

木本 峰生(高6)

- 会期 9月18日(金)～23日(水・祝)
- 会場 フォーラム七尾4F(七尾駅前)
- 主催 七尾高校同窓美術会
- 共催 七尾高校同窓会
- 後援 七尾市・七尾市教育委員会
北國新聞社・ラジオななお
テレビ金沢・七尾市文化協会
- 募集部門 絵画・工芸・書・写真
- 出品料 無料
- 事務局 〒926-0056 七尾市塗師町23
広島 孝子(高9)
- 電話 0767-5213043
携帯 090-237713043

毎年各地から七尾高校を卒業した、美術愛好家たちが出品して行われてきた七尾高校同窓美術会展は、今年には創立110周年記念事業として、盛大に行われることが決定しています。会員の皆様、お揃いでお気軽にご出品くださいますようお願い申し上げます。(要項等は6月中旬に事務局へご連絡ください。)

創立110周年記念・恩師歡談

あの日、あの時

今回、ご出席の4人の恩師と八十田校長先生は、永年本校で教鞭を執られ、私共生徒を心身共に鍛え、育て頂いた先生方です。司会はエッセイストの小林良子さん(高8)です。創立120周年に向けての提言となる、素晴らしい座談会になりました。(七高同窓会長 佐原 吉博)

- 岸 あや子 先生
- 宮田 一男 先生
- 山本みのる 先生
- 西村 孝之 先生
- 八十田 至 校長

■司会 七尾高校は今年一〇周年を迎えます。その記念の年に先生方のお話を伺い、あの日あの時を振り返り、未来を考えたいと思います。

日本の教育や制度を変革した太平洋戦争終結の翌年、本校に着任された岸先生からお話を。

新しい教育

●岸 昭和二十一年、教師十年目に母校の七尾高等女学校に帰りました。翌年、教育基本法、学校教育法が定まり、二十三年に七尾中学と合併して七尾高等学校になりました。教育は進駐軍司令部の管理下にあり、戦前の訓練用の木銃や剣道用具、なぎなたや弓は武道禁止令で廃止され、ベースボール、ダンスが入りました。進駐軍がジープで視察に来ると、校長から「進駐軍来校」のメモがきます。生徒には事前に説明してあるので、授業はベースボールかアメリカのスクエアダンスに切り替えます。その授業を見て、彼らはガムを噛みながら上機嫌で帰りました。



■司会 まさに教育の混乱期ですね。

●岸 戦争中の体育は女学校でも配属将校がついて負荷のなかった走運動が主だったので、戦後の一時間毎に「体育つて楽しい教科なのね」と生徒に言われ

伝統復活の土壌だけは作れたと思っています。

■司会 人生に節目があるように高校にも節目があり、その度に軌道修正をして新生し、今日があるのですね。学校運営のお話が出たので、環境整備のお話を。

●岸 体育館新築の時、将来を考えてバスケットコート二面を主張して県教委と対立しました。当時、県立高校はバスケットコート一面が基準でした。宮田先生と私は辞表提出の覚悟で譲らず、議論しました。それだけにゴールインが出た時は感無量でした。それ以後に建てる体育館はどんどん大きくなりました。また、図書館の充実を図り、同窓生の設計で新築、増築したのもうれいのです。

これからの七高

●山本 同窓会で学生寮が話題になっていますが、今でも下宿する生徒は多いのでしょうか。



●西村 約四十人と聞いていますが、普通科でこれだけ多くの生徒が下宿しているのは七高だけです。

●山本 下宿の生徒が遅刻、欠席するとすぐ訪問しました。どんなに良い下宿でも生徒への介入には限界がありま

運動の楽しさと厳しさを学べる授業が目標になりました。

●宮田 二十七年に七高に来て、生徒を講堂に集め、先生と生徒で二日間、授業もしないで生徒会の会則を作りました。それが今の生徒会のスタートです。鍋木校長は一言も言わず、端然と座して生徒と付き合われた姿が記憶に残っています。

七高の伝統と校風



●宮田 男女共学も始まったばかりで、その上、七高の前身は旧制中学だから、若かった私は憧れの「能州大学」で教鞭をとる心境で緊張感を持ち、生徒を高く評価していました。

●岸 生徒は大人でした。また、旧制中学や旧制女学校としてのプライドもありました。

●宮田 私の目標は岸先生と中浜先生で、早く県下に通用する教師になりたいと思っていました。それだけに目標のない生徒、やる気のない生徒が嫌いでした(笑い)。

●山本 私は豪雪の三十八年、七高に赴任しましたが、生徒に「僕は最近だからです。中学ではだらけるとロングとショート、ちみり」がありま

す。学生寮があればと幾度も思いました。

●八十田 同窓会と一緒にアンケートを実施して前向きに検討しています。

●岸 一〇〇周年で同窓会は盛り上がりました。皇太子妃雅子様のご両親、小和田ご夫妻のご来校が大きな力になりました。本当に立派な記念事業でした。同窓会の支援は七高の更なる発展の原動力の一つだと思います。

●宮田 久しぶりに新校舎を眺めて胸が躍り、生徒が輝いて見えました。希望と誇りを持って入学した生徒は優秀です。この希望を先生と生徒が心を合わせて確かな現実にしてほしいと願いました。また、元教師として、生徒が健康で世のため人のためになる人生を歩むことを期待します。

●八十田 先生方が生徒の前に立つ時の姿勢、雰囲気、或いは権威で生徒を感化されたことを思い出しました。権威は授業での学識の深さ、高さであり、部活では取り組む厳しき、高い志です。「部活も真剣、同時に勉強もさせてこそ教師」の七高の伝統は岸先生、宮田先生方が基礎を築かれ、歴代の先生方が大切に磨かれました。生徒は人生の節目節目にその教えを思い出し、自分の支えにしているところが七高の素晴らしさです。今日のお話を一〇〇年のスタートの礎にいたします。

■司会 私たちが「七高の卒業生で

した。先生お願いします。」と言われ、驚きました(笑い)。やる気を大切にしたい。その時の生徒は七尾の経済界で活躍されています。素直な模範生でした。

●八十田 私は三人の先生が在職中の生徒ですが、目標を持って頑張る校風でした。同窓生がインターハイでベストエイトに残ったバスケット部(宮田先生指導)の主将をしながら、現役で京大工学部に合格しました。その時、やる気は夢を現実にするのだと素直に思っていました。



生徒指導と自己研鑽

●山本 私が着任した時の一年生は十一クラスで、数学を七人で指導しました。テストの度に各クラスの平均点を表にします。テストの問題は十一クラス同じなので、自分が指導したクラスの平均点が低いと自分の教え方に問題あります。生徒に「頑張れ」のかけ声だけでは効果がないので、放課後にマンツーマンで指導しました。成績が上がれば生徒も学習意欲を持ち、全体のレベルも上がりました。温かい個人指導は一年生に必要だと思いました。

■司会 評価されるのは生徒ばかりかと思っておりましたが、先生も評価され

「と胸を張れるのは素晴らしい先輩、後輩に恵まれ、高校生活では立派な先生の教えと良き友達に出会えたからです。本日も出席頂いた先生方は「教え子に守られて幸せです。七尾では多くの同窓生が重要なポストで活躍しています。県内外でも同じでうれしい」と話され、私は胸が熱くなりました。この話はオフレコでしたが、公開して座談会を終わります。



学校運営と環境整備

■司会 先生方の努力で、私たちはベストの指導法で教えられ、温かく育てられたのだと改めて思います。

●西村 平成五年に母校を去り、十二年に校長として戻りました。その間急激で大きな人事等もあり、七高の伝統、校風、指導体制が先生方の共通理解になっていないもどかしさを感じました。大きな舵は切れませんでした。



●山本 そうです。いい授業をするためには教科の知識が豊富であることが最低条件ですが、中学校と高校の連絡、教科カリキュラムの勉強もしましたね。また、社会の高度化、複雑化も進み、生徒にはホーム主任のカウンセラー指導が特に大切だと思いました。

●西村 着任は教師になって四年目の四十二年です。恩師が多く、先生と言うよりは生徒でした(苦笑)。当時、英語の先生が全員で協力し、熱心に指導して結果を出されていたので驚きました。それからの二十四年間は教師の自己研鑽、先生同士の切磋琢磨が教育効果を上げることも実感し、部活は健全な学生生活に必要なだと痛感しました。



古来稀といわれる歳を過ぎて、七尾高校中京同窓会会長を拝命致し一寸戸惑いました。昭和31年高校を卒業、大学を経て、経済成長時代に会社人間として一途に懸命に働き、当地で生活基盤を基きました。退職後振り返れば、郷土

ご挨拶



中京同窓会 会長 坂本 惇 (高8)

中京同窓会



昨年前半まで、日本が一番経済が好調だった当京地区も、自動車関連産業の輸出不振による衰退

世界的な経済不況の影響を受け、日本も百年に一度の経済危機と言われ、前途多難な一年を迎えました。

や母校に対して何のお返しもししていなかったと思われ、少しでもお役に立てればと、引き受けることにしました。中京同窓会との関りは、平成12年会社を退職し無為に過ぎていた頃、健康増進と趣味のため市内のカルチャーセンターの「里山ウォーキング」と「男の料理」の講座に入会しました。この料理教室で隣のグループに居た方の話しぶり・話題がなんとなく懐かしく思われ話したところ、七尾市出身で高校の二年後輩でした。彼は中京同窓会の幹事をしており、彼の勧めで中京同窓会の世話人会に入り手伝いを始めたことがきっかけです。



ており感謝しております。現在、中京地区には349名の同窓生がいます。少しでも多

で最も経済不調の地域となりました。中京同窓会会員の中にも影響を受けている方もいると考えられます。世話人会ではアンテナを高く掲げ、情報を集め、若し苦しんでいる人がいたら精神的な力になろうと話し合いました。世話人会では、旧中学卒の大先輩から若い人まで献身的に同窓会のためがんばっていた



くの人が親睦をはかれるよう微力ながらがんばりたいと考えています。皆様の御指導と御協力をお願いいたします。



七尾高校中京同窓会

会長兼事務局 坂本 惇 (高8) 〒488-0088 愛知県尾張旭市南原山町南原山39-1-3 ☎056-1-5516006 副会長兼事務局 倉田美智子 (高13) 柴田 宗治 (高17) 事務局 高山 博之 (高24) 〒463-0000 愛知県名古屋守山区緑ヶ丘106 スカイハイツ小幡緑地90 ☎052-795-2756

平成21年度 中京同窓会

日時 11月29日(日) 12時〜 場所 メルパルク名古屋 名古屋市中区葵3-16-16 ☎052-937-3535 是非皆さん大勢のご出席をお待ちいたしております。



は、青春のふるさと七尾に戻り、能登弁を思い出しつつ旧交を温めるのが同窓会です。

関西・中京の同窓会もそうでしょうが、関西同窓会でも、参加される多くは、既にふるさとでの18年間より遙かに長い年月をその地で過ごされ、そこが第二のふるさとで、当然、日常の言葉は、その土地の言葉(関西弁)になっていきます。そんな日常から、わずか半日ですが、気持ち

お元気で。関西同窓会です。母校創立110周年、お喜び申し上げます。

今年も春一番、関西の風



関西同窓会 会長 辻口 信良 (高18)

関西同窓会



関西同窓会は、全国の同窓会に先駆け4月第3土曜日に開催し、第27回の今年も、大阪市中央区の「シティプラザ大阪」(TEL06-6947-7888)での開催です。本番に向け、各期の卒業生で構成される幹事が、前年の12月から5回も集まり準備を重ねます。無理の無いようにとは言っていますが、幹事長の勘山悟さんを始め、皆さん忙しい中を時間をやりくりしながら集まり、苦勞をおかけしています。今年も新企画として、同窓会の前座として若手の落語家さんに一席話しをしていただきます。また、本日はもとより各地の同窓会から来賓が来られますが、それ以外にも、関西での七尾商業や羽咋高校などの同窓会、石川県大阪事務所、北国新聞大



阪支社などからの来賓もあり、その方々には七尾高校校歌は歌っていただけなので、全員で唱歌「ふるさと」を合唱します。あの「うさぎ追いし...」の歌です。今頃の卒業生には、ぴんと来ないでしょうが、40歳以上の同窓生には、うさぎもふな釣りも本当にびったりで、ぼくなどは、歌いながらジーンとします。まあ、そんなわけで、関西(大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山)の同窓生1500人位、皆元気にとはいえませんが、皆ふるさとを、母校七尾高校を懐かしく思いながら頑張っています。

平成21年度 関西同窓会

日時 4月18日(土) 12時30分〜16時頃 (受付開始11時半より) 場所 シティプラザ大阪 大阪市中央区本町橋2-1-31 ☎06-6947-7888 ※地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅 1、12号出口より徒歩6分 ※地下鉄谷町線・中央線 谷町4丁目駅 4号出口より徒歩7分 ★会費 1万円 但し、51期〜59期生は5千円 60期、61期(今年3月卒)は無料

七尾高校関西同窓会

全国の同窓生のみならず、伝統ある母校七尾高校で学ぶ生徒諸君、先生方、事務局の方々に感謝とエールを送ります。 会長 辻口 信良 (高18) 事務局 〒530-0044 大阪市北区西天満4-8-2 北ビル本館4階 太陽法律事務所 ☎06-6361-8888 06-6361-8889 E-mail: info@taiyo-law.jp 幹事代行 榎本彌一郎 (高7) 〒583-0882 大阪府羽曳野市高鷲6-1-4-122 ☎072291-5313969

最後に同窓会の皆様には眉丈山・石動山系に囲まれた中能登の地には是非足を運ばれ、歴史にふれられ、素晴らしい自然を満喫されるよう心から

佐原会長の能登各地に同窓会組織をとの構想のもと、昨年4月に中能登同窓会が発足しました。(創立総会の模様は前号に掲載されています。)其の後各地に同窓会が再建・新設されあるいは予定されています。一日も早くこれらを統括する能登支部の創設が望まれます。



中能登同窓会
会 長
今井 武司
(高 13)

中能登同窓会

ご挨拶

金沢地区合同同窓会



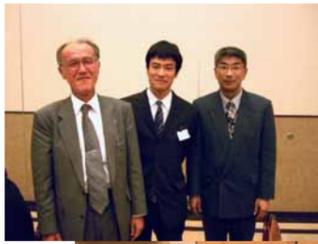
金沢地区合同同窓会
会 長
杉本 勇寿
(高 3)

30号発刊に寄せて

「七高同窓会だより」第30号の発刊に当り全国各地でご活躍の七高同窓生の皆様に、謹んでご挨拶を申し上げます。

我等が母校七尾高校は、改築中の校舎の全ての工事が完了し、昨年10月めでたく完成式を迎えることができました。

八十田校長先生をはじめ、全教職員一丸となったご努力により、県下に誇れる素晴らしい学校に発展してまいりました。



文武両道の校風は、今も脈々と受け継がれております。

さて、一昨年3月、未曾有の被害をもたらした能登半島地震から、早2年近くが経過しました。県民あがりの取り組みにより、殆どどの復旧工事も完了し、懸念された観光地の風評被害もほぼ払拭されつつあり、能登もようやく落ち着きを取り戻して参りました。

逆に、地震を契機に能登は一つの合言葉のもと、能登全域が一つにまとまり、能登の魅力年全国に発信しようとする動きが活発になってきたことは、画期的なことと喜んでおります。

今能登は第一次産業の振興と観光産業に抛りどころを求め、それぞれの地域が知恵をしぼり、元氣な能登をアピールしようと懸命に頑張っております。

お願いし、近況報告とさせて戴きます。



七尾高校中能登同窓会

- 会 長 今井 武司 (高13)
- 〒929-1605 鹿島郡中能登町高島ル10
- ☎0767-771-215
- 副会長 戸部 信六 (高9)
- 新屋 春雄 (高14)
- 笹川とみ子 (高14)
- 代表幹事 廣田 隆弘 (高8)
- 会計監査 藤本 昌平 (高6)
- 池田 信明 (高4)
- 事務局 島田 博文 (高16)
- 〒929-1701 鹿島郡中能登町井田59の14
- ☎0767-776-1471

第2回 中能登同窓会

日時 5月31日(日) 11時〜
場 所 かめや
〒929-1635 中能登町高島
是非皆さん大勢のご出席をお待ちいたしております。

休耕田の復活をはじめ、里山里海の自然を守り育てる運動などやるべき事は山ほどあります。

ただ、高齢化と過疎化の波は依然として厳しく、何をするにも、人材不足、人手不足が悩みの種です。

全国でご活躍の同窓生の皆様、自然豊かな能登の海、山に想いを至し是非ふるさと能登を訪れて下さい。そして立派になった母校の校舎を見学して下さい。

地元七高同窓会も、佐原会長を先頭に頑張っております。

昨年は、志賀をはじめ穴水、中能登に同窓会支部が立ち上がり、これからの能登の各地で支部設立の動きがあります。

Uターン、Iターンは大歓迎です。以上私からのご挨拶とさせていただきます。



志賀町同窓会



志賀町同窓会
会 長
青山 源隆
(高 20)

ご挨拶

七尾高校同窓会員の皆様方には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

志賀町同窓会は、平成11年に石田弥寿雄(中44)支部長のご尽力により創設され活動してまいりましたが、富来町と志賀町との合併を機に、昨年7月に新しい同窓会組織が設立され、志賀町同窓会長という大役を拝命することになりました。

当会は、町内に在住する約250名の会員で、今後も親睦会などの事業を開業し、旧交を温める機会を提供していきたいと考えております。本年、七尾高



七尾高校金沢地区合同同窓会

- 会 長 杉本 勇寿 (高3)
- 〒920-0042 金沢市小立野2-14-18
- 副会長 天井 修 (高8)
- 谷口 元章 (高10)
- 北野 信之 (高15)
- 高澤 基 (高17)
- 県庁事務局 中田 久 (高20)
- 健康福祉部
- 総務課 山本 樹 (高27)
- 〒920-8500 金沢市鞍月1-1
- ☎076-225-1123
- 市役所事務局 永本洋一郎 (高20)
- 環境指導課
- 農業総務課 中山 潔 (高30)
- ☎076-220-2214
- 県警事務局 中村 幸伸 (高22)
- 県警本部
- 会計課 越村 和彦 (高35)
- ☎076-225-0110
- 事務局は輪番です。
- (H20県庁、H21市役所、H22県警)
- (平成20年4月末現在)

平成21年度 金沢地区合同同窓会

平成21年度金沢同窓会は秋の開催となります。会員の皆様にはDMにてご連絡申し上げますので是非ご参加をお願いします。

校は創立110周年を迎えられますが、素晴らしい記念事業となりますよう、当会としても、微力ながらご協力させていただきます。

七尾高校志賀町同窓会

- 会 長 青山 源隆 (高20)
- 〒925-0141 羽咋郡志賀町高浜町ケ10-3
- ☎0767-3213448
- 副会長 向永いみ子 (高5)
- 中谷 喜彦 (高16)
- 林 一夫 (高20)
- 代表幹事 荒川 仁 (高33)
- 顧問 宮谷 典昭 (中43)
- 石田弥寿雄 (中44)
- 監 事 山口 繁樹 (高18)
- 池田 孝詞 (高19)

第2回 志賀町同窓会

志賀町同窓会の開催を予定しております。会員の皆様にはDMにてご連絡申し上げますので是非ご参加をお願いします。



このたび、能登町・珠洲市同窓会が設立いたしました。ここまでこれたのは、佐原会長の熱意のおかげであり、厚く感謝申し上げます。この支部同窓会を地域の同窓生を結ぶ窓口として輪を広げ、七高同窓生としての誇りをもって母校のいつそこの発展に寄与したいと思っております。皆様方今後よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶



能登町・珠洲市同窓会 会長 福池 正人 (高17)

能登町・珠洲市同窓会

七尾高校能登町・珠洲市同窓会
会長 福池 正人 (高17)
〒928-0331 鳳珠郡能登町字柳田仁部72-12
☎0768-7611200
副会長 中平 義則 (高16)
副会長 干場 実 (高19)
副会長 田中 博之 (高33理)
事務局 端 正 (高21)
〒928-0301 鳳珠郡能登町上尾ル部12
☎0768-7610271



進行は鰻目剛氏(高30)が担当。佐原会長は同窓生各位に同窓会活動支援に対する感謝や、同窓会活動の更なる活性化へのご協力をお願いしました。続いて八十田校長が母校の近況、特に22年ぶりに全国大会出場を果たした男子バスケットボール部を筆頭に、運動部や文化部の活躍を報

本部同窓会総会・懇親会
平成20年度本部同窓会は、9月21日(日)、和倉温泉「あえの風」にて開催された。当日は県内外から320名の同窓生が集った。懇親会に先立ち、総会(120名参加)では、松木一郎議長(高6)、石垣龍子副議長(高7)のもと議事が進行、平成19年度の事業報告、同決算が承認された。その後20年度事業案、予算案も可決された。
総会後、正午より懇親会。本年は例年にもまして参加者が多く、320名の同窓生が参加された。各期の幹事の方から、「同級生同士は同じテーブル、またはすぐ近くに座りたい」とのご要望が多く、試みとして、全員座席指定させていただいた。

来賓として歴代学校長である従二喜一先生、佐々木敬彦先生、佐々木弘明先生、高沢幹夫先生、西村孝之先生、三浦光雄先生、谷口祐弘先生、また同窓会顧問の飯田桂一氏(中40)、堀昭七郎氏(高3)、並びに関東同窓会中村一夫副会長(中46)、関西同窓会勘山悟幹事長(高9)、中京同窓会室木勝彌会長(高9)、金沢地区合同同窓会杉本勇寿会長(高3)、そして今年度創立された中能登同窓会今井武司会長(高13)、志賀町同窓会青山源隆会長(高20)が紹介された。
宴も闌となり、恒例の平常歌・高等女学校校歌・七尾高校校歌の斉唱となった。中学、高女、高校の有志が登壇し、声高らかに歌い上げた。
来年は、本校創立110周年の年でもあり、9月20日(日)の総会・記念祝賀会での再会を期しておひらきとなった。



本部同窓会活動状況

告した。

来賓として歴代学校長である従二喜一先生、佐々木敬彦先生、佐々木弘明先生、高沢幹夫先生、西村孝之先生、三浦光雄先生、谷口祐弘先生、また同窓会顧問の飯田桂一氏(中40)、堀昭七郎氏(高3)、並びに関東同窓会中村一夫副会長(中46)、関西同窓会勘山悟幹事長(高9)、中京同窓会室木勝彌会長(高9)、金沢地区合同同窓会杉本勇寿会長(高3)、そして今年度創立された中能登同窓会今井武司会長(高13)、志賀町同窓会青山源隆会長(高20)が紹介された。



昨年8月、七尾高等学校本部同窓会佐原会長から会長方針として能登の市や町で七尾高等学校同窓会の支部を立ち上げたいとお話を頂きました。早速、輪島市在住の同窓の方々と連絡を取り合い、10月2日佐原会長をお迎えして準備会をひらき、11月30日に設立総会を開催しました。設立総会には、同窓会本部より佐原会長、大橋副会長、津田副会長、八十田校長、教頭先生や教職員そして能登町から福池さん、端さんもご出席いただき、総会では会則の承認と役員が選出されました。図らずも世話人の中で年長ということで私が

ご挨拶



輪島市同窓会 会長 小山 桂一 (高15)

輪島市同窓会

会長に選ばれました。懇親会では、学校や恩師の話や部活のことは勿論ですが輪島の方は下宿生活をしていたので、当時の下宿のことや食堂や風呂屋、映画館等の話で尽きる事がないくらい盛り上がりました。本年は、本部同窓会事業への積極的参加と年2回の役員会と定例会を予定しています。

七尾高校輪島市同窓会
会長 小山 桂一 (高15)
〒928-0001 輪島市河井町5部155-11
☎0768-225190
副会長 大下 泰宏 (高18)
山岸 満 (高19)
代表幹事 廣江 雄幸 (高23)
幹事 毎田 隆 (高26)
松原 完也 (高29)
相神 淳也 (高37)
事務局 坂口 茂 (高27)
監事 今寺 伸子 (高19)
村元 悟 (高24)
〒928-0201 輪島市町野町広江3-9-1
☎0768-3210009
平成21年度の行事(予定)
●平成21年 5月 役員会
●平成21年 9月 役員会
●平成21年 9月 定例会

穴水町同窓会



穴水町同窓会 会長 北川 浩文 (高24)

本部同窓会会長の佐原先生や幹部の皆様、八十田校長先生とお二人の教頭先生方、輪島市同窓会の小山会長の御臨席を賜りまして、1月25日に七尾高校穴水町同窓会の発会式を開催し、しばらく休止しておりました活動を再開する運びになりました。校長先生からは最近の進学状況や部活動における活躍ぶりを拝聴いたしました。かつて我々もそうであったように(?) 伝統を守り、文武両道に励む在校生の姿に、同窓の友のことや、在学時のことが懐かしく思い出されました。これから同窓会会員相互の親睦を深め、一丸となって、能登の名門、七尾高校の更なる雄飛をできる限り応援したいと思っております。
6月ごろには総会を開催したいと考えておりますので、穴水町在住の同窓会員の皆様の御参集をお願いいたします。

七尾高校穴水町同窓会
会長 北川 浩文 (高24理)
〒927-0206 鳳珠郡穴水町大町1-17
☎0768-5213555
顧問 相談役 藏瀬 助定 (高9)
曾良 昌嗣 (高16)
摩郷 則雄 (高16)
宮下源一郎 (高18)
大下 正司 (高18)
岡崎 善二 (高24)
高木 作之 (高30)
七海 友也 (高35)
代表幹事 盛 徹 (高20)
世話人 江戸 伸一 (高26)
浜 照美 (高27)
林 要 (高29)
不二井悟史 (高30)
法岡 敬人 (高31)
船本 正美 (高35)
木下 浩一 (高37)
松村 正人 (高39)
摩郷 修 (高45)
永田 恵理 (高52)
長尾 武志 (高52)
会計監査 谷内 和雄 (高18)
新本美恵子 (高13)
〒927-0442 鳳珠郡穴水町宇留地夕46
☎0768-15210262

期別同窓会開催のご報告

【中41期】

平成20年10月4日(土)～5日(日)
和倉温泉「ホテルのと楽」 12名

入学から70年目卒業65周年の集い
永源 功(中41)

膝腰体調不良との近況を寄せた欠席者が16名、八十路の気力を振り絞り杖を突いてでもとの出席者が12名で、前回より9名減となり一抹の淋しさを覚える。今回は関東地区からの参加はなく、それでも大阪や名古屋の遠来を迎えて肩を寄せ合い歓談することができた。



お互いの近況報告から始まり70年前の入学当時にまで遡る思い出は尽きず、ビール片手に座り込みこれが最後かも知れない

い饗宴を楽しむ。波穏やかな七尾湾と能登島を手近に望む特別貴賓室で共に枕を並べ、亡き友を偲びつつ秋夜語り続けて更けるを知らず。

翌5日は9時半開式の七尾高校新校舎完成記念式典に出席。谷本石川県知事、杉本副知事ほか多数の来賓臨席の下、職員・生徒・同窓生ら相集う新体育館において、厳莊の気た、たよう式典の進行と生徒の爽やかな動作に魅せられ、創立110周年を誇る伝統なお此処にありと胸を熱くする。

近代校舎の素晴らしさに感嘆した後周巡。先ず明治記念講堂に歴代校長の写真・古き資料展を見、ギリシヤモザイク模様正壇を背に初代校長奥田頼太郎先生の胸像と並んで写真を撮る。かつて学びし旧校舎跡は赤煉瓦敷きの散策路と憩の森として整備されており、昔の面影は殆んど見当たらない。敬礼を欠かす事のなかった御眞影奉安所跡と思われる箇所には鐘楼が建ち、そこに刻まれた三星校章が懐かしくてシャッターを切り、三星の鐘を思いきり鳴らして昔の授業を思う。今に変わらぬ御祓川のせせらぎに洗われる苔むした石垣を眺め、今はなき三星荘と農場への往来を思い浮かべ、七高橋と旧正門を写す。

新校舎前庭に戻り奥田頼太郎先生銅像に礼拝した後、横たわる巨大な二宮石に刻まれた平常歌碑を撫し感慨を新たにする。70年の歳月を経てその思い出の一こまを谷口精光氏の三脚カメラに収める事ができた。

【中44期】

傘寿を祝って

守友 宗次(中44)



2年毎に実施している中44回生同窓会は、今回も一昨年の7月26日和倉温泉「ホテル海望」で行われ、13名の出席でした。30名の方からは欠席の回答があり、それぞれ近況の報告がありました。

今年参加人数が減り、淋しさを感じましたが、それでも東京から始めての出席との友に、元気が出て会も盛り上がりました。

【女22期】

七女22回生(さつき会)の状況

理事 橋本 君子(女22)
評議員 岸 あや子(女22)

ここ数年同窓会総会の校歌斉唱の時、女学校の最年長になっているのが22回生です。毎年続けたさつき会も、数年前から遠方より集う人もなくなり数人では：というので散会したのです。今や卒寿を祝う年になりました。110周年記念の年にわたされる同窓会だよりにせめて旧交に対するお礼や、捨てがたい母校愛をこめて最終の筆をとペンを採りました。

個々の差はあれ、多くは老老介護の常の中で懸命に生きてるのが実状です。理事の橋本君子は母校の学校薬剤師として奉職、評議員の岸あや子は二十数年続いているなぎなた教室、大

期別同窓会開催のご報告

【中41期】

平成20年10月4日(土)～5日(日)
和倉温泉「ホテルのと楽」 12名

入学から70年目卒業65周年の集い
永源 功(中41)

膝腰体調不良との近況を寄せた欠席者が16名、八十路の気力を振り絞り杖を突いてでもとの出席者が12名で、前回より9名減となり一抹の淋しさを覚える。今回は関東地区からの参加はなく、それでも大阪や名古屋の遠来を迎えて肩を寄せ合い歓談することができた。



お互いの近況報告から始まり70年前の入学当時にまで遡る思い出は尽きず、ビール片手に座り込みこれが最後かも知れない

わけではありませんが、ゆったりとした余裕も余りなかったように思われます。

月日の過ぎるのは早いもので、私達も定年退職が近づき時間的余裕も出てきました頃、Eさんよりお声がかかり、此度七尾その近在にお住まいになっている同級生で月一度集って、色々な行事又食べ歩き等楽しんで人生を送りたいと言う事でした。それは今から丁度30年も前の事でした。

丁度仲間にお寺の奥さんがいらっしゃって、集合場所は殆どお寺と言う好都合な条件でした。

集う名前を何にするか、私達は青春時代が戦争中だったので苦労した仲間でした。大和撫子の下文字を取って「なでしこグループ」として名付けました。それ以来殆どの名前を「なでしこグループ」として通用しています。

今でも行事の中で心に残っている物と言われるとやはり写真を見て思い出しています。

車を貸し切って、東京見物・国会議事堂見学。椅子の立派だった事、国の代表が集う処威風堂々とした風格でした。NHK歌謡ショー、二階の真正面席で実物を近くで見学。やはりテレビで見るとは比べがたいです。随分時間が過ぎても心に刻まれています。

60才の還暦記念には九州旅行で思い出

出作りをしました。其の他県内の温泉めぐり、おいしい物食べ歩きと、変わった物の見学、帰りには、子供や孫の土産物で又話がはずみ笑いが盛り上がります。

【女34期】

袴章を付けて凛々しく入学す

藤林 邦子(女34)

次男の孫の入学である。長男もお世話になり大学3年です。此の祖母の嬉しかったこと。「光陰矢の如し」一年一年日のたつの早いことです。新築の立派な校舎に学び幸せな孫達です。毎朝大きな野球のバックを背負って登校しています。

私達七女34回生みよし会は戦中戦後の真只中でした。思い出の一つ一つも懐かしく尊いものです。9月の創立110周年の時も「みよし会」もクラス会をします。

早々と和倉温泉に予約しました。皆んな何ごともなく健康で元気に参加出来まます様にと思ふ此の頃です。本部同窓会事務局の方々御苦労様です。有難うございます。

【高3期】

平成20年6月3日～4日

和倉温泉「あえの風」 90名

喜寿同窓会

前川 貞夫(高3)

3期生喜寿同窓会は、岸あや子先生をお迎えし、90名の同窓生が一堂に会した。開会に先たち物故者の追悼法要が舞台の祭壇で同期生の横山円了住職、前川貞真僧侶によって厳修された。開会は幹事代表の堀昭七郎君の歓迎の挨拶に始まり岸先生と叙勲の榮に浴された木元良生君に花束の贈呈が行われ、黒氏医学博士の乾杯で幕があき踊り、カラオケ、合唱等で盛りあがった。二次会は翌4日新装になった本校を見学し福井亭で昼食を取り散会した。ちなみに現在校内にあげてある校訓の扁額は3期生同窓会が寄付したものである。

【女27期】

昔をしのんで
星野 ヒサ(女27)

随分、昔の事を思い出しながら、現在の楽しいグループが出来た事をしたためてみました。或る時、買物の途中で、学校時代に仲良しだった友達とばったり出会い、お互いの近況報告をしながら、話し合っていると懐かしさに時間の過ぎるのも忘れてしまいました。当時は務めもあり、子育てしながらの食事の用意、自分一人でしている



【高3期】

平成20年6月16日〜17日
和倉温泉「あえの風」16名

中能登町「七高3期生同窓会」
賑々しく開催

横山 円了(高3)

平成20年6月16日(月)、つい2週間前、本部七高3期生の「喜寿同窓会」が開催された和倉温泉茶寮の宿「あえの風」で、同じ3期の中能登町在住の面々が参集して今年度の同窓会を開催した。

今年度は、4月13日に「七尾高校中能登同窓会」の設立総会の開催や、前述の本部3期生同窓会で忙しい年だったが、昨年6月10日に実施した19年度同窓会で決めてあったので、日程どおり実施することにしたものである。



20名弱の常連、和氣藪々大いに飲みかつ語れることで、みんな楽しみにして待っている会である。当初は3〜4年毎だったのが、5年前から毎年開催に、3年

前から女性連にも声掛けをして出席して貰っている。

本部3期生同窓会が『喜寿同窓会』として締めくくったが、我々はどうするか聞いたところ、「最後の二人になるまでやる。」の発言に異口同音の拍手、当分続きそうな雰囲気である。

来年6月予定の『喜寿の同窓会』は

ともかく、『傘寿』を迎える頃を思い描きながら今回の報告にしたい。

【高5期】

第5回生(愛称 五五会) 卒業後55年

平成20年10月13日、「のと楽」に元



気いっばいの老青年が集いました。昭和55年に五五会と名付けて再生した5回生の会はこの年、卒業後55年を記

念し、開催しました。参加者数55名にもこだわりましたが、次会の達成目標に切り替えました。次会開催に向けて「ゴー・ゴー」と、5回生は常に前向きです。春成 泰 小林 茂雄 高沢 至 山田 猛 春木外喜男 吉田 貞二

【高6期】

平成20年9月19日(金)〜20日(土)
和倉温泉「ホテル海望」
県内外各地から 80名

感慨深い新校舎視察の兼六同窓会

木本 峰生(高6)



七高6回卒業の「兼六同窓会」は9月19日(金)・20日(土)の両日、和倉温泉の「ホテル海望」を会場にして行われた。

恩師の宮田一男先生と岸あや子先生のお二人をお招きするということで、全国各地から80名が参加して盛大なものとなった。

更に、翌20日(土)は母校の新校舎視察があり、熱のこもった部活動の様子に拍手を送りながら、50数年前を思い返して、熱いものがいく度となくこみ上げてくるのを感じて、充実した2日間と再開の喜びを確認しながら、母校を後に帰路についた。

【高8期】

平成20年10月26日(日)
鬼怒川温泉
県内外各地から 38名

高校『花の八期』同窓会

10月26日(日)鬼怒川温泉にて、七尾高校31年卒『花の八期』38名が、「古稀高齢感謝の集い」と銘打って同窓会を開催しました。

当日、午後2時に東京駅に集合、観光バスから変貌する東京の名所旧跡を見ながら、一路鬼怒川温泉に向かいました。

午後6時半に記念集合写真を撮り、すぐに開宴、卒業以来始めての参加者などがあり、あちこちで話の輪ができ、学校時代のこと・卒業後のこと・現況のこと等で話題が尽きず、アツという間に宴会の2時間が過ぎてしまいました。次回2年後の同窓会は、中京支部が担当幹事となって計画することを決め、中締めを宣しました。

引き続き、クラブシャラントンを貸切り、歌い放題・飲み放題の2次会でも大変楽しく愉快な憩いのひと時を1時過ぎまで楽しんでいただきました。そして3次会は幹事部屋にて約1時間、さらに飲みかつおしゃべりをしてようやくお開きとなりました。翌日は、31会の晴れ女・晴れ男のお

蔭で絶好の行楽日和に恵まれ、東照宮参拝後「いろは坂」では秋真つ盛りの紅葉を満喫することができました。お猿さんの歓迎も受けましたが、交通渋滞には全く遭わずほんとうに快適なドライブでした(前日、前々日は3〜4時間も渋滞したこと)。東京駅に近づき、校歌を熱唱、次回も元気に再会することを誓いあつて、それぞれの家路につきました。

参加者は次の38名です。

石過外志勝、大島勝彦、小川勝、奥山隆男、柏野晶子、河洲光男、金場昭範、木森貞夫、小林良子、坂本悖、坂本勝子、左順厚子、白数英子、須原晟雄、関川洋子、高橋慶子、滝川勝男、田中敏雄、登美満喜子、中村英雄、長田文雄、西田金忠、畠中清松、福島美沙子、



細川一夫、堀井繁、堀岡啓吾、的場登世子、美濃外志雄、宮下良森、他恵子、守澤昭一、山形たつ子、山下俊郎、山田勝子、山本孝子、柚木千鶴、渡辺昭子。(田中記)

【高10期】

平成20年7月10日(木)

和倉温泉「ホテルのと楽」

県内外各地から 79名

卒業後50周年・古稀記念

同窓会のこと

宮田也寸子

卒業をして50年の今年、七高10回生は古稀を迎えました。前回の華寿(還暦)は七尾高校100周年と同年に開催しましたが、古稀を記念して、平成20年7月10日、和倉温泉「のと楽」で開催致しました。参加人数は79名と地元石川はもとより、関東、関西、北陸一円にかけての参加があり、たいへん盛り上がりしました。受付でまず再会と出席できたことを慶び合い、このことが部屋、宴会会場へと拡大していきました。

残念なことに、鬼籍に入った同級生を偲び、開会に当り、黙祷をささげました。次いで、佐々波さんの音頭で「七尾まだら」を浜田さん(旧川下)が舞い格調高いオープニングになりました。50年ぶりの邂逅を感謝し、喜び合い、更に次に迎える「喜寿」、「傘寿」の祝をめぐす同窓会をしようと参加者一同誓いあいました。

翌日はバス2台に分乗し、母校を訪問しました。新築になった校舎や施設

を目の当たりにして学習環境のよさと後輩のすばらしい発展に大満足致しました。ここで10回生から母校にAEDを寄贈し、後輩の安全を祈念致しました。名残を惜しみ、次回の再会を約し散会しました。

後日私のところに新潟市在住の同級生の旧秦さんから一通の封書が届きました。その中に新潟県新潟高校の同窓会の「会報」(昭和47年新潟高校創立80周年記念特集号)が同封されておりました。この「会報」を読んでいくとこの高校の校長先生は菅原久夫とい、旧七尾中学高出身の方で驚きました。そして、菅原校長は「創立記念日の思い出」と題した一文を書いておられました。その内容はご自身の出身校である七尾中学校創立30周年記念式に全生徒代表として答辞を読まれたそうです。ところが、答辞の原稿は当時、



七尾中学校の教頭だった漢文の小和田先生が真つ赤になるほど添削され、ほとんど小和田先生の文になっっていました。しか、菅原久

【高10期】

平成20年9月3日(水)〜9日(火)

モスクワ・サントペテルブルク

参加者 13名

第11回おまけの実年修学旅行

松浦 正武(高10)

10回の実施で止めようと思っていたが、世界四大美術館巡りということで延長になった。行先はロシアのモスクワとサントペテルブルクである。何せ共産国なので窮屈な旅になるかもしれないと思っ、また初めての旅行会社のツアーに混じって行くので今までにない経験だという気がした。

ところが感動することが意外と多かった。帝政ロシア時代を彷彿とさせ



る宮殿と美術品は、戦禍にも触れず避難されて、見事に修復されたのである。今までに目にした欧米の物とは比べものならぬ程の世界遺産、至宝と言つていいものであった。参加者は同級生およびその配偶者、知人の13人で和気あいあい、何も飾り気のないホテルでは電気ポットで湯を沸かして抹茶を点てて飲み、秋の夜長を楽しんだりもした。

今後ともこうした旅の楽しみを糧として、実年修学旅行を続けたいものと思つている。

【高11期】

平成20年6月26日(日)

熱海伊豆山温泉「水葉亭」

県内外各地から 69名

熱海に集う

元橋 範子(高11)

去る6月12日、関東地区幹事の方々のお世話で、熱海伊豆山温泉「水葉亭」にて、11回生の同窓会開催。卒業後50年の節目の年、関東地区での8年ぶり

ていた関西同窓会・会長の辻口さんも参加しました。話がすいぶん弾み、今後も定期的に行こう、と話がまとまりました。そこで今年に入り、小川さんの発案で、同期会だけでもやろう、という話が進み、榎場さんが手配してくれました。急遽の召集もあり、集まったメンバーは12人でした。遠くは、甲府から相原(旧姓：垣内)さんが参加してくれました。ざつとくばらんな懇親会です。

七高を卒業してから現在までの経歴を、各自が自己紹介しましたが、皆さん、まさしく波乱万丈です。また、そんな時代でした。高度成長の中でビジネスを覚え、家庭を持ち、バブル経済下で豊かさをちよつとびり実感し、バブル経済崩壊で厳しさも実感しました。山あり谷ありの人生でした。それぞれに、それぞれの苦勞があっただけに、大いに共感を覚えます。酒も進みましたが、そして、さすが七高出身者達との思いを強くしました。

の開催で69名の参加。七尾、金沢地区からは、バスを仕立てて33名、バスの中も賑やかで、熱海の海岸をバスの車窓から眺めながらの到着。何年ぶりの懐かしい顔、顔……。宴会、二次会、三次会と、50年ぶりで初参加の方もあり、談笑に花が咲き、なごやかに語り合い、スナップの取り合い、カラオケ、校歌、平常歌他を思いっ切り歌い、大いに盛り上がりしました。本当に楽しい会になりました。次回は、古希を迎える22年、金沢の幹事さんによる開催を約して帰路に着く。

【高13期】

十三回生・期別同窓会

幹事会立ち上がる

合言葉・「元気で会おう」

2月6日、母校創立記念式典に向けて29名の幹事が和倉に結集した。12月初めから名簿校正等を手掛け、諸準備を経ての第一回幹事会である。前々回の十三回生東京大会、前



同期会は、一年に二回くらいを目処に集まる意向です。出来ればメール召集を主に30人〜50人が簡単に集まるような形に、早い機会に持ち込みたいです。もつとも、今回の同期会の縁で、別な形で輪が広がろうとしています。金沢の西さんから連絡が入り、3月19日に皆さんに会えないだろうか、とのこと。さつそく四谷で、一部メンバーだけが懇親会です。各地の同期とのコミュニケーションの受け皿になるのもいい。

【高25期】

平成21年3月8日(日)

能登和倉万葉の里マラソン2009

完走 10名、

他ボランティア、応援多数

元気がいっぱい能登を駆ける

中川 秀平(高25)

能登で初めてのフルマラソンが行われると聞き、「七高同期で走ろう!」との話が出たのが昨春秋。チーム名は『ななこ25』。5km5名、10km3名、フルマラソン2名の計10名が、さわやかな早春の能登島、和倉を駆け抜け(歩き抜け?)しました。会場には現役七高生のユニフォーム姿もたくさん見かけましたが、「若いモンにはまだ負けん!」と氣勢をを

回名古屋大会に続く七尾本大会となる。七尾高校創立110周年記念事業実行委員長に大林重治君就任をうけ、和と輪が一気に盛り上がった。東京からは松田慎吾君、名古屋から倉田美智子さんがはせ参じ大幹事会となった。記念式典・記念祝賀会そして十三回生特別事業メニューの審議を終え、28名になんなんとする物故者への黙祷の後、発会式は盛会であった。他、アルバム記念復刻版発刊決定。

【高18期】

平成21年1月31日(土)

東京・新橋にて 12名

高18期関東同期会

亀 俊男(高18)

1月31日、七尾高校第18期の同期会を東京・新橋で行いました。第二回目です。

まず、この同期会を発案したのは、関東同窓会だけでは物足りない、と考えているメンバーが多かったからです。関東同窓会は、恩師を含め、多くの参加メンバーを集めて例年賑やかに開かれています。しかし年齢層が幅広く、人数の割には、同期ないしは同じ世代のメンバーが少ないのが現実です。出かけても同期のメンバーが僅かだから面白くない、だから次は行かな



げ、美味しい焼き牡蠣や海鮮汁にしたつづみを打ち、和倉温泉でゆつたり汗を流しました。

『同期のみんな、来年2010年は3月14日(日)です。一緒に走ろうぜい! 気持ちいいぞお!!』

【高31期】

平成21年1月21日(金)

和倉温泉「ホテル海望」

県内外各地から 49名

31期生同窓会の報告

我々31期生は、卒業30年の節目を迎え、和倉温泉のホテル海望にて、7名の恩師の先生方をお招きして同窓会を開催しました。参加した49名の同窓生の中には、恩師と見間違えそうに変貌された方も見受けられました。宴会が始まると、30年前にタイムスリップするのさほど時間はかからず、遅くまで思い出話で盛り上がりつておりました。



い、そんな結果になつていきます。同窓会は同窓会で機能しているもの、出来れば同期会もあれば、というのが同期会メンバーの暗黙の声でした。

我々18期は、俗に言う「団塊の世代のトップランナー」です。とにかく人数が多いだけに、なにかと注目を浴びて来ました。その18期が、一昨年から順次還暦を迎え、職場では大半が定年退職しました。すでに第二の人生に踏み込んでいます。大いに生活を楽しまたい、というのが実感です。また、現役中に培ったノウハウを生かし、現在住んでいる地域、出来れば郷里にも貢献したいと考えています。関東に住んでいる同期は、現在把握出来ている数で100人弱。まずはこのメンバーに同期会への参加を呼びかけ、輪を広げて行きたいです。

昨年の関東同窓会では同期が6人集まりました。そこで私が音頭を取り、数寄屋橋で初めての二次会、すなわち同期会を開催しました。来賓で参加した。今回は5年後にという予定ですので、今回参加できなかった方は、ぜひ参加してください。

卒業30年に集う

滝野 満(高31)

平成21年1月21日 我々31期生が卒業して30年となるのを機に、同窓会を開催した。

当日は、7人の恩師(山本みゆる、寺本幸生、佐々木弘明、長浜和史、大場豊治、川畑松晴、北村茂樹の諸先生)にご出席を賜り、同窓生とあわせて総勢55名が参加しての開催となった。

恩師を代表して山本先生にご挨拶を頂戴した後、佐々木先生のご発声による乾杯で開宴。クラス別の出し物等も交えながらの歓談は尽きることなく、校歌と万歳三唱で中締めをした後も、二次会で、それぞれの部屋で談笑の声は深夜に及んだ。

卒業以来に会う顔とも、30年の時を超えて思い出話や互いの近況に花が咲いた。懐かしさだけでなく、皆がそれぞれに活躍していることが嬉しく、元気づけられる思いがした。

翌朝、またの再会を約し、今回は今回参加できなかった面々とも会えることを願いながら散会した。

PTA役員 (案)

Table with 2 columns: 役職 (Position) and 氏名 (Name). Lists PTA members including 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監事 (Supervisor), 会計 (Accountant), and 書記 (Secretary).

5月16日 PTA総会提出議案



▲ シンガポールでの発表

母校は今!!

SSH推進室から

シンガポール国立大学附属高等学校 (NUSハイスクール) との国際交流が充実

(1) シンガポールでの研究交流 (2年目)

日程 平成20年7月28日~8月2日

参加生徒 2学年理数科8名 (男子4、女子4)、引率4名

・NUSハイスクールの授業に参加

・課題研究4種類の英語発表 (2名単位)

発表内容 七尾市と七尾高校の紹介、長谷川等伯の松林図屏風、食品の賞味期限、画像認識の解析、他NUSからの発表

(2) NUSハイスクールの生徒が七尾高校で研究交流 (今年度から)

日程 平成20年10月21日~26日

参加生徒 NUSハイスクール6学年

(日本の高校3年生) 7名、引率3名

・七尾高校の授業に参加

・課題研究の発表

・七尾美術館等で七尾の紹介



全校集会 ▶



▶ スーパーセミナー 数学ゼミ



▶ スーパーサイエンス



▶ 七尾美術館を訪れる

大学合格者数

(平成21年3月末現在、過去2年は最終のもの)

Table showing university acceptance numbers for National Universities (国立大学) from 2019 to 2021. Lists universities like 北海道大, 東北大, 筑波大, etc.

Table showing university acceptance numbers for Public Universities (公立大学) from 2019 to 2021. Lists universities like 高崎経済大, 富山県立大, 石川県立看護大, etc.

Table showing university acceptance numbers for Private Universities (私立大学) from 2019 to 2021. Lists universities like 慶応大, 上智大, 中央大, etc.

平成20年度 各大会成績 (21年2月現在)

- Extensive list of sports and cultural event results for the 20th year (2008). Includes categories like 新人大会 (Newcomer), 県大会 (Prefecture), 全国大会 (National), and various sports like 野球 (Baseball), 水泳 (Swimming), etc.

払込取扱票		普通払込料金加入者負担	
02	007104	39019	
石川県立七尾高等学校同窓会			
運営協力金 (1口 ¥1,000)	冊		円
同窓会名簿 (1冊 ¥5,000)	冊		円
近10年誌 (1冊 ¥2,500)	冊		円
学校新聞縮刷版 (1冊 ¥1,500)	冊		円
110周年記念DVD (1枚 ¥1,000)	枚		円
名刺交換板掲載 (10口の方)	する		しない
〒220-0033 高〇〇 神奈川県横浜市西区大手通1-2-3-40B			
能登 一郎様			
〒220-0033 神奈川県横浜市西区大手通1-2-3-40B			
能登 一郎様			

「運営協力金抛出」のお願い

昨年は多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。払込票は、協力金の払い込みのほか、下記に紹介する商品代金の払い込みにもご使用ください。
今年も多数の皆さまからの一層のご協力をお願い申し上げます。

創立110周年記念刊行物などのご案内

- 同窓会会員名簿** (5,000円 送料込)
- ・ A4版 (従来B5)
 - ・ 各期の恩師一覧 (高校～)
 - ・ 各期の思い出の写真収録



- 110周年記念DVD** (1,000円 送料込)
- ・ 卒寿の追憶+新しい写真収録
 - ・ 新校舎完成記念式典の映像収録
 - ・ 校歌・応援歌収録

※商品を購入希望の方は、同封の払込取扱票に必要事項をご記入の上、代金をお支払いください。

- 近10年誌** (2,500円 送料込)
- ・ 創立100周年後の10年間の記録集

- 学校新聞縮刷版** (1,500円 送料込)
- ・ 創刊号～現在まで約180号収録

- 記念切手シート** (80円×10枚 1,200円 送料込)
- ・ 新校舎完成を記念して作製
 - ・ 校舎内部、思い出の建築物など収録
 - ・ **限定150部**



記念切手シートを購入希望の方は、同窓会事務局 (TEL・FAX 0767-52-3376) までご連絡ください。先着150名様に達し次第、締め切らせていただきます。代金は商品到着後お支払いください。

編集後記

最後まで読んでもらうには、どのような内容で編集すればよいのか、編集委員会で話し合いを十分にしたつもりです。魅力ある内容にと思いつながら、いつものことながら、担当の先生方に全てお任せしました。お陰で今回もできあがりしました。皆さんの沢山のご意見を事務局までお願いします。

編集長 大岩 為一 (高17)